

【11月14日（土）】 オンライン開催

9:30-9:50 開会式（日本福祉大学 学長挨拶、（公財）日本水泳連盟 会長挨拶、学会長挨拶）

10:00-11:00 シンポジウム

「コロナ下における水泳界のトップコーチとトップ選手の心理的状态と今後の取り組みについて」

草薙 健太：中京大学スポーツ科学部

11:10-11:55 企業プレゼン（zoom または録画映像）

12:00-12:30 昼休み

12:40-14:40 一般発表（8演題×15分）

14:50-15:50 プールサイドセッション（zoom または録画映像）

1) Para Artistic Swimming

森田 美千代：日本 Para Artistic Swimming 協会会長

2) サバイバルフローティングから学ぶもの

合屋 十四秋：日本福祉大学スポーツ科学部

16:00-17:00 若手の会主催企画

1) 16:00-16:10 「若手の会の活動報告」 報告：成田健造（鹿屋体育大学）

2) 16:10-17:00 「筋活動から泳ぎを分析する～水中ドルフィンキック中の筋活動パターンに着目して～」

発表：山川啓介（日本女子体育大学）

【11月15日（日）】 オンライン開催

9:00-11:00 一般発表（8演題×15分）

11:10-12:20 パイロットスタディ（10演題×7分）

12:30-13:10 昼休み

13:20-14:50 パネルディスカッション

「水泳水中運動のボトムアップ：大学水泳教育の視点から」

総合司会：高木英樹（筑波大学），大学一般水泳：山中裕太（筑波大学大学院生），

教員養成水泳：松井敦典（鳴門教育大学），水泳教育の目指す方向性：土居 陽治郎（国際武道大学）

15:00-15:45 バックアップスロット：不備等が起きた場合に対応します

15:55-16:25 年次大会

16:30-16:45 学会賞等表彰

閉会式

2020/11/09

SWEX プログラム

総合司会：西村直記（日本福祉大学） & 坂口結子（日本福祉大学）

11/14(土)

9:30 ~ 9:50 **開会式**

挨拶：児玉善郎（日本福祉大学学長）

挨拶：青木剛（公益財団法人日本水泳連盟会長）

挨拶：合屋十四秋（日本水泳・水中運動学会会長）

10:00 ~ 11:00 **シンポジウム**

発表：40分，質疑：20分

座長：尾関 一将（大阪体育大学）

演者：草薙 健太氏（中京大学）

「コロナ下における水泳界のトップコーチとトップ選手の心理的状态と今後の取り組みについて」

11:10 ~ 11:30 **企業プレゼンテーション**

演者：株式会社ジャパンアクアテック

演者：株式会社ナビテック

11:30~12:10 **昼休み&Zoom Open Lounge**

12:10 ~ 13:20 **一般口頭発表①**

@15分 × 4演題

座長：松田 有司（国立スポーツ科学センター）

・加地智哉（鹿屋体育大学大学院）

慣性センサを利用した泳者の手部で産生される推進力推定方法の検討

・古賀大樹（筑波大学大学院）

クロール泳における呼吸動作の有無が手部推進力と泳速度に与える影響

・市川 浩（新潟医療福祉大学）

大学生と中高生競泳選手間のフラッターキック動作の比較

・山川啓介（日本女子体育大学）

フラッターキックとドルフィンキックにおける下肢動作の違い—3次元動作分析を用いた検討—

13:30 ~ 14:40 **一般口頭発表②**

@15分 × 3演題

座長：村松愛梨奈（鈴鹿工業高等専門学校）

・加藤健志（東海大学 スポーツ医科学研究所）

競泳におけるヘビーウェイトトレーニングの有効性

～2016 リオ オリンピック200m平泳ぎ金メダル獲得に向けた金藤理絵のストレングストレーニングの実践から考える～

・門岡 晋（金沢星稜大学人間科学部）

ストレス/リカバリー評価に着目したセルフモニタリング技法の効果検証

～OGC アプローチによる検討～

・奥田鉄人（金沢星稜大学人間科学部）

飛込選手の脛骨および踵骨の骨質評価について

14:50 ~ 15:50 **プールサイドセッション**

座長：野村照夫（京都工芸繊維大学）

1) Para Artistic Swimming

森田 美千代（全国障害者AS連絡会会長）

2) サバイバルフローティングから学ぶもの

合屋 十四秋（SWEX会長&日福大）

16:00 ~ 17:00 若手の会の活動報告

司会：成田健造（鹿屋体育大学）

演者：山川啓介（日本女子体育大学）

「筋活動から泳ぎを分析する ～水中ドルフィンキック中の筋活動パターンに着目して～」

17:00~18:30 Zoom懇親会（Group Discussion形式）

司会：坂口結子（日本福祉大学）

11/15（日）

9:10 ~ 10:00 **一般口頭発表③**

@15分 × 3演題

座長：寺本圭輔（愛知教育大学）

・速水舞（東京学芸大学大学院）

水泳授業は運動領域と保健領域を結びつける：月経を題材として

・目黒拓也（日本大学文理学部人文科学研究所）

古橋廣之進の人生観が教員養成課程学生の指導観および教育観に与える影響

・森山進一郎（東京学芸大学）

泳がない水泳指導の意義を問う～教員養成系大学における水泳実技科目の実践から～

10:10 ~ 11:00 **一般口頭発表④**

@15分 × 3演題

座長：武田剛（順天堂大学）

・中筋勘太（びわこ成蹊スポーツ大学大学院）

キックスタート動作の事例的研究;エリート選手とジュニアエリート選手を対象として

・本間 正信（神戸大学）

競泳スタートのパフォーマンスに影響を与えるグライド期までの運動学的要因

・佐藤大典（びわこ成蹊スポーツ大学）

バックストロークレッジが背泳ぎスタートパフォーマンスに与える影響

～男子全国大会出場レベル選手を対象にして～

11:10 ~ 12:10 **パイロットスタディ**

@7分×7演題

座長：谷川哲朗（大阪国際大学）

・水藤弘史（愛知学院大学）

3m 飛板飛込における飛板のローラー位置と踏切動作および飛込高の関係

・岡田礼子（マーメイドれいこクラブ）

「ゆる泳ぎ」の基礎は「浮いて待て」

「浮いて待て」ができれば次に「ゆる泳ぎ」の基本形「世界一易しい泳ぎ：

The elementary backstroke」へと進めるのを世界標準に！

・合屋十四秋（日本福祉大学 スポーツ科学部）

聴覚・肢体障害学生にも対応可能なハイブリット水泳水中授業の試行

・中島 きよ（東京YMCA社会体育・保育専門学校）

「けのび」の習得が泳力に及ぼす影響

・水上拓也（大阪体育大学）

競技結果とウエイトトレーニングの関係性

・成田健造（鹿屋体育大学）

大学生競泳選手を対象とした縦断的調査

～速くなる時に何が起きているのか？～

・渡邊泰典（仙台大学）

水泳不得意者の支援を目的とした新型ヘルパーの開発とその効果の検証

12:10～ 13:10 **昼休み&Zoom Open Lounge**

（パイロット研究の情報交換を含む）

13:20 ～ 14:50 **パネルディスカッション**

「水泳水中運動のボトムアップ：大学水泳教育の視点から」

司会：高木英樹（筑波大学）

演者：山中裕太（筑波大学大学院生）

演者：松井 敦典（鳴門教育大学）

演者：土居 陽治郎（国際武道大学）

15:00 ～ 15:30 **年次総会**

15:30 ～16:00 **学会賞等表彰・閉会式**